

◎ H27年度で、63万円位と考えている。

◎ 今後の対策として、強制手段をとりたいとあるが、どういった内容か。

◎ 今までも強制的手段はとっている。給与の差し押さえや預金の差し押さえを、引き続き行う。

◎ 行政の効率化を考えると、この債権管理条例は必要だと考える。

◎ この条例は、予め債権放棄出来るケースを定めておくということ。そのケースを議会で議論してもらいたい。の検討に入りたい。

(2) 社会保障・税番号制度への取り組みについて

◎ 個人番号カードは、公的な身分証明証になると理解して良いのか。

◎ 運転免許証やパスポートと同様の効果を持った、公的な身分証明証になる。

◎ 職員が扱うパソコンのネットワーク管理はどうなっているのか。

◎ 個人情報の中でないが、扱えるパソコンが混在している状況にある。10月

5日までには解消するよう対応する。

◎ 個人番号カードに有効期限はあるのか。

◎ 大人が10年、子どもは5年の期限がある。



(3) ふるさと納税について

ふるさと納税に対して、

返礼制度を開始したい。開始時期は10月中を予定し、

返礼率は5割程度を想定している。返礼品については、「安心生産農園製品」、「秘境

駅グッズ」、「新幌延町史」とし、「雪印メグミルク製品」については、調整段階にある。

また、返礼品目の追加については、随時検討を進めていきたいと考えている。

◎ 納税額の設定は、どの位と考えているのか。

◎ 額の設定は設けていないが、件数として2百50件を想定している。

(4) 定住促進住宅の整備について

定住促進政策の足掛かりとして、空き住宅の改修を

行いたい。まずは、問寒別の旧教員住宅1棟2戸を1LDKと3LDKに改修したいと考えている。

また、定住促進に関する条例の整備も必要であり、12月の議会提案に向けて準備を進めている。

◎ この他に、町有の物件はあるのか。

◎ 町有のものはない。

◎ 町が民間の空き家を確保する考えはないのか。

◎ まずは空き家等の状況確認と、売却の意向調査を行いたい。

(5) 地域おこし協力隊について

内定者は、横浜在住の男性60歳と旭川市在住の男性59歳の2名で、10月1日から仕事に就いてもらうための準備を進めている。

所属は総務課企画振興グループになるが、観光振興ということもあり、経済課産業グループのサポートをもらいながら進めたいと考えている。

◎ 想定していた年齢より高いと考えるが。

◎ 募集に際しては概ね40歳程度ということだったが、本人のやる気や技術等を踏まえて採用した。

◎ 単身で来るということだが、家族が来る可能性は。

◎ 将来的に家族で移住ということも可能性はあると考えている。

◎ 活動分野に観光協会の業務支援とあるが、内容は。

◎ その時期、時期の情報発信が鈍いところがあったので、ホームページの充実などを考えている。

(6) まち・ひと・しごと創生総合戦略について

創生会議等を通じて、3百件を超す意見をいただいた。議論の結果、総合戦略の骨格として4つの基本目標を掲げ、17施策に分類をした。

◎ 今後は、10月初旬に答申を出してもらい、パブリックコメントの手続きをして、10月末に完成させたいと考えている。

